

第七十回帝國議會  
衆議院

# 絲價安定施設法案外一件委員會會議錄(速記)第四回

## 付託議案

絲價安定施設法案(政府提出)  
絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

### 會議

昭和十二年三月三日(水曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事小山邦太郎君 理事横川 重次君

百瀬 渡君 最上 政三君

粟山 博君 篠原 義政君

森 幸太郎君 青木 精一君

山崎 銀二君 平野 力三君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

絲價安定施設法案(政府提出)

絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

○紫安委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○百瀬委員 御質問申上ケルニ先ダッテ御

斷リヲシテ置キマスガ、私近來齒ヲ損傷シテ、私ノ申上ケルコトガ御聽取リ惡イカト

思ヒマス、ドウゾ……先日モ御尋致シマシタノデアリマスルガ、本法ノ施設即チ絲價

安定ノ目的ヲ達成シマスニハ、本法ダケノ施設デハ、完全ニ其目的ヲ達成スルコトガ

出來ナカラウト考ヘラレルノデアリマス、

結局蠶絲業關係ノ全面ニ互ッテ生産統制ノ

發展ニマデ及ボサナケレバ、其目的ヲ期ス

ルコトハ難イト思ヒマス、此點ニ於キマン

テ政府當局ニハ其用意ヲ必要トスルノデア

リマスルガ、現在ニ於テ其用意アリヤ如何

ト云フコトデアリマス、就中是ハ前委員若

クハ本會ノ質問ニモアッタノデアリマスル

ガ、桑園ノ整理、普通蠶種ノ國家管理、此

二ツノ點ハ最モ蠶絲業ノ經營ノ基準トナル

ベキモノデアリマスルカラ、之ニ向ッテ生産

統制ヲスルト云フ用意ガ今カラ必要デア

リ、更ニ切實ニ言フナラバ、本法ト並行シ

テ施設スル必要ガアリハシナイカト存ズル

ノデアリマス、私ハ特ニ普通蠶種ノ國家管

理、此急要ヲ痛切ニ考ヘラレルノデアリマ

スガ、昭和五年度ニ於ケル普通蠶種ノ過剩

蠶種ノ割合ハ、三九・八%ト相成ッテ居リマ

スルガ、是ハ統計ノ示ス所デアリマスルガ、

更ニ最近昭和十年度ノ過剩蠶種ハ、四九・一

%ト云フ工合ニ増大シテ居ルノデアリマ

ス、今之ヲ昭和十年ノ蠶種販賣價格一五十

五錢ト致シマスル時ニハ、過剩蠶種ノ價格

ダケデモ實ニ七百八十八萬四千六百餘圓、

斯様ナ莫大ナル金額ガ産出サレル譯デアリ

マス、此過剩蠶種ノ大部分ハ、全ク掃捨テ

ラレル所ノモノデアリマシテ、何等成繭ト

シテ役立タナイモノデアリマス、中ニ或ハ

此過剩蠶種ノ爲ニ、思惑ノ増掃、即チ養蠶

家ニ對シテ思惑的ニ増掃ヲサレルト云フヤ

ウナコトモ餘儀ナクセラレマシテ、其結果

繭ノ價格ノ下落ノ原因トナルヤウナコトガ

決シテ少クナイト思ハレルノデアリマス、

此過剩ノ場合ニ於キマシテハ、隨テ國家經

濟ノ上カラ見マシテモ非常ナル損失トナル

譯デアリマス、此過剩ノ蠶種ニ費ス所ノ、

生産費ヲ普通蠶種ノ管理ニ依リマシテ、優

良ナル蠶種製造ニ振向ケルコトガ出來タト

致シマスルナラバ、所謂養蠶家ノ養蠶經營

ノ上ニ於テ安定ノ一助トナリ、農村救済ノ

一方策ダトモ言フコトガ出來ルノデアリマ

ス、政府ハ斯ル見地ニ基キマシテ、普通蠶

種ノ國家管理ヲ急速ニオヤリニナルト云フ

御用意ガアリマスカ、ソレニ對スル御方針

ヲ率直ニ承リタイト思ヒマス

○井野政府委員 只今百瀬委員ノ御質問ノ

通り、今後ノ我國ノ蠶絲業ト致シマシテハ、

段々ト生産ノ全面的統制ノ方面ニ向ッテ、色

色ノ施設ヲ進メテ參ラネバナラスコトハ御

所感ノ通りデアリマス、本法律ダケデ十分

其目的ヲ達シ得ナイコトモ、吾々當局トシ

テハ認メテ居ルノデアリマス、併シ何分ニ

モ蠶絲業ノ業態ガ非常ニ多岐ニ互ッテ居リ

マスカラ、全面的統制ト云フ事柄ハ、言葉

ハ簡單デアリマスルケレドモ、實行ノ上ニ

於テハ色々難點ヲ伴ッテ居ルノデアリマス、

隨テ農村當局ト致シマシテモ、蠶絲業ノ更

生刷新ノ爲ニ昭和八年ニ三大目標、即チ本

會議デ大臣ガ御述ベニナリマシタヤウニ、

優良品ノ廉價生産、繭絲類ノ生産及ビ販賣

ノ統制、繭絲類ノ需要増進、此三ツノ目標

ヲ定メマシテ、ソレト具體的施設ヲ之ニ

適應シテ今マデ立案シテ參ッタノデアリマ

ス、本案モ其重要ナル一ツノ具體案デアリ

マシテ、是等ノ具體的施設ガ段々ト樹立實

行サレテ參リマスレバ、全面的統制ニ向ヒ

マシテモ、餘程進ンダ施設ガ出來上ッテ來

ルト考へマス、併シ尙ホ色々残サレタ問題トシマシテ、只今御話ノ普通蠶種國家管理ト云フ問題モ起テ來ルト思ヒマスガ、唯今御述ベニナリマシタ過剩蠶種ノ問題ハ、普通蠶種ガ國家管理ニナリマセヌデモ、原蠶種ノ國家管理ガ施行サレマスト、餘程其點ハ減テ來ルノデアリマス、ト云フノハ原蠶種ノ種類ガ三百前後アル譯デアリマスガ、其非常ニ多種ナ原蠶種ガ民間ニアルト云フコトガ、過剩蠶種ヲ生ズル大キナ原因ニナテ居リマス、然ルニ原蠶種ノ國家管理ニナリマスレバ、原蠶種ヲ十數種ニ限定シテシマヒマスカラ、隨テ民間、即チ養蠶家ノ之ニ對スル要望スベキ蠶種ノ種類ハ、非常ニ減ッテ來ル譯デアリマス、其爲ニ豫メ蠶種製造者トシテ用意ヲ致サナケレバナラヌ蠶種ノ種類ガ減ッテ參リマスカラ、茲ニ過剩蠶種ト云フモノハ自然非常ニ減ッテ來ルト云フコトハ御諒承願ヘルト思ヒマス、デアリマスカラ原蠶種ノ國家管理ハ、一般ニハ十五年度カラ實施サレルコトニナリマスガ、其實績ヲ見マスレバ、必ずヤ只今御話ノヤウナ三四十「パーセント」モ過剩蠶種ガ生ズルト云フコトハ、全然無クナルト私共ハ信ジテ居リマス、併シソレ以外ニモ普通蠶種ノ國家管理ト云フモノハ、或ハ蠶種ノ生産統制

ノ方面カラ、及其他ノ方面カラモ必要デアラウト思ヒマスカラ、目下色々其具體案ニ付テノ研究ヲ重ネテ居リマス、隨テ原蠶種管理法ノ實施ノ成績ヲ見マシテ、其必要ニ應ジテ立案シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○百瀨委員 原蠶種ノ國家管理ガ昭和十五年度カラ完全ニ實施サレルノデアリマスカラ、普通蠶種ノ過剩ヲ生ズル虞ハナイ、斯様ニ御説明ニナリマスケレドモ、原蠶種ノ管理ノ目的ト普通蠶種ノ管理ノ目的トハ、其目的ガ自ラ異ッテ居ルノデハナイカ、即チ只今ノ御説明ノ中ニモアリマシタ通り、原蠶種ノ國家管理ハ、雜駁ナル所ノ幾多ノ種類ヲ整理シテ、即チ優良種ニ統一シテ、蠶絲業ノ謂ハ、經營ヲ單純化スル、斯ウ云ツタ方面ノ役割ヲスルモノデアッテ、普通蠶種ノ國家管理ハ生産モ或ル程度ニ制限スルコトモアリマスガ、大體ノ目的ハ優良ナル蠶種ヲ作ッテ、養蠶家ノ蠶種ニ對スル不安ノ念ヲ一掃セシメル、即チ養蠶家ニ蠶作上ノ安定ヲ與ヘル、斯ウ云フコトガ目的デアリマスカラ、ヤハリ原蠶種ノ雜駁ナル種類ヲ整理スルト共ニ、其原蠶種ヨリ生ジタ所ノ普通蠶種ヲ成ベク優良蠶種ニ限定セシメテ、之ヲ一般養蠶家ニ供給スルト云フコトニナラナケレ

バナラヌノデアリマスカラ、其點カラ申セバ普通蠶種ノ國家管理ニシテ、或ル程度ニ於テハ法制上カラ之ヲ生産制限ヲシ、一面カラハ優良ナル所ノ普通蠶種ヲ供給セシメルト云フ方途ニ出ヅルコトガ宜シイト思フ者デアリマス、私ハドウシテモ今日ノ如ク、殊ニ一昨年、即チ昭和十年年度ノ如キ過剩蠶種ノ出來マス現狀ニ鑑ミルト、國家管理ガ最モ必要デアルノデハナイカ、否急ヲ要スル施設デアリハシナイカト云フコトヲ痛感スルノデアリマス、成程政府ニ於キマシテハ、此蠶絲業ノ共同施設組合ノ設立ヲ慫慂致シマシテ、中小業者ノ共同ニ依ッテ蠶種業者ノ經營上ノ改善ヲ促シ、優良蠶種ノ普及徹底ヲ圖リ、サウシテ大企業ノ形態ニ對抗セシメル所ノ策ヲ立テ、居ラレマスガ、今日ノ如キ状態デハ、中々中小業者ノサウシク經營ヲ俟ッテ、ソレカラ優良蠶種ノ配付ヲ期待スルコトハ、洵ニ待遠イヤウナ感ジガ致スノデアリマス、政府ハ急ニ之ヲスル必要ガナイト云フ別個ノ御考ガアルナラ、ソレヲ伺ヒタイ

ラ、隨テ優良蠶種ニ付テノ統制上、普通蠶種ノ國家管理ヲ急グト云フ必要ハ餘リ感ジテ居ラナイノデス、併シ唯蠶種製造者ハ今御話ノ通り四五千人居リマシテ、之ニ向ッテ共同施設組合ノ獎勵ヲ致シテ居リマスルガ、是モ無論短時日ノ中ニ多數ノ成立ヲ見ルコトハ困難デゴザイマスルカラ、販賣上ニ於ケル所ノ色々ノ統制施設ノ必要ハ認めテ居ルノデアリマス、併シ之ヲ國家管理ノ形式デ、普通蠶種ノ販賣統制ヲ行フノガ宜イカ、又或ハ自治的ナ色々ノ手段ニ依リマシテ進メテ行クノガ宜イカト云フコトニ付テハ、色々ノ議論ガアルノデアリマス、マダ何分ニモ原蠶種ノ國家管理ガ實際ノ效果ヲ發揮シテ居リマセヌカラ、其效果ノ發揮ヲ見マシテ、尙ホソコニ足ラザル所ガアレバ、普通蠶種ノ國家管理マデ進ムノガ宜イノデハナイカ、苟モ國家ガ一ツノ産業ノ統制ヲ致シマスニハ、濫リニ私共ハ發動シテハイカヌト思ヒマス、能ク事態ヲ究メテ、其必要ガアリマスレバ國家ノ力ヲ以テ統制ヲ加ヘテ行クノガ宜カラウ、併シ出來ルダケハ業者ノ自治ヲ以テ進ムコトガ宜イノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマスルカラ、原蠶種ノ國家管理ノ運用ヲヤリマシテ、普通蠶種ノ國家管理ノ問題ニ入りタイ、斯ウ

○井野政府委員 過剩蠶種ノ問題ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ原蠶種ノ國家管理ニナリマスレバ、極メテ優良ナル蠶種十數種ニ限ラレルノデゴザイマスルカ

○井野政府委員 過剩蠶種ノ問題ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ原蠶種ノ國家管理ニナリマスレバ、極メテ優良ナル蠶種十數種ニ限ラレルノデゴザイマスルカ

○井野政府委員 過剩蠶種ノ問題ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ原蠶種ノ國家管理ニナリマスレバ、極メテ優良ナル蠶種十數種ニ限ラレルノデゴザイマスルカ

ルト考へマス、併シ尙ホ色々残サレタ問題トシマシテ、只今御話ノ普通蠶種國家管理ト云フ問題モ起テ來ルト思ヒマスガ、唯今御述ベニナリマシタ過剩蠶種ノ問題ハ、普通蠶種ガ國家管理ニナリマセヌデモ、原蠶種ノ國家管理ガ施行サレマスト、餘程其點ハ減テ來ルノデアリマス、ト云フノハ原蠶種ノ種類ガ三百前後アル譯デアリマスガ、其非常ニ多種ナ原蠶種ガ民間ニアルト云フコトガ、過剩蠶種ヲ生ズル大キナ原因ニナテ居リマス、然ルニ原蠶種ノ國家管理ニナリマスレバ、原蠶種ヲ十數種ニ限定シテシマヒマスカラ、隨テ民間、即チ養蠶家ノ之ニ對スル要望スベキ蠶種ノ種類ハ、非常ニ減ッテ來ル譯デアリマス、其爲ニ豫メ蠶種製造者トシテ用意ヲ致サナケレバナラヌ蠶種ノ種類ガ減ッテ參リマスカラ、茲ニ過剩蠶種ト云フモノハ自然非常ニ減ッテ來ルト云フコトハ御諒承願ヘルト思ヒマス、デアリマスカラ原蠶種ノ國家管理ハ、一般ニハ十五年度カラ實施サレルコトニナリマスガ、其實績ヲ見マスレバ、必ずヤ只今御話ノヤウナ三四十「パーセント」モ過剩蠶種ガ生ズルト云フコトハ、全然無クナルト私共ハ信ジテ居リマス、併シソレ以外ニモ普通蠶種ノ國家管理ト云フモノハ、或ハ蠶種ノ生産統制

ノ方面カラ、及其他ノ方面カラモ必要デアラウト思ヒマスカラ、目下色々其具體案ニ付テノ研究ヲ重ネテ居リマス、隨テ原蠶種管理法ノ實施ノ成績ヲ見マシテ、其必要ニ應ジテ立案シテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○百瀨委員 原蠶種ノ國家管理ガ昭和十五年度カラ完全ニ實施サレルノデアリマスカラ、普通蠶種ノ過剩ヲ生ズル虞ハナイ、斯様ニ御説明ニナリマスケレドモ、原蠶種ノ管理ノ目的ト普通蠶種ノ管理ノ目的トハ、其目的ガ自ラ異ッテ居ルノデハナイカ、即チ只今ノ御説明ノ中ニモアリマシタ通り、原蠶種ノ國家管理ハ、雜駁ナル所ノ幾多ノ種類ヲ整理シテ、即チ優良種ニ統一シテ、蠶絲業ノ謂ハ、經營ヲ單純化スル、斯ウ云ツタ方面ノ役割ヲスルモノデアッテ、普通蠶種ノ國家管理ハ生産モ或ル程度ニ制限スルコトモアリマスガ、大體ノ目的ハ優良ナル蠶種ヲ作ッテ、養蠶家ノ蠶種ニ對スル不安ノ念ヲ一掃セシメル、即チ養蠶家ニ蠶作上ノ安定ヲ與ヘル、斯ウ云フコトガ目的デアリマスカラ、ヤハリ原蠶種ノ雜駁ナル種類ヲ整理スルト共ニ、其原蠶種ヨリ生ジタ所ノ普通蠶種ヲ成ベク優良蠶種ニ限定セシメテ、之ヲ一般養蠶家ニ供給スルト云フコトニナラナケレ

バナラヌノデアリマスカラ、其點カラ申セバ普通蠶種ノ國家管理ニシテ、或ル程度ニ於テハ法制上カラ之ヲ生産制限ヲシ、一面カラハ優良ナル所ノ普通蠶種ヲ供給セシメルト云フ方途ニ出ヅルコトガ宜シイト思フ者デアリマス、私ハドウシテモ今日ノ如ク、殊ニ一昨年、即チ昭和十年年度ノ如キ過剩蠶種ノ出來マス現狀ニ鑑ミルト、國家管理ガ最モ必要デアルノデハナイカ、否急ヲ要スル施設デアリハシナイカト云フコトヲ痛感スルノデアリマス、成程政府ニ於キマシテハ、此蠶絲業ノ共同施設組合ノ設立ヲ慫慂致シマシテ、中小業者ノ共同ニ依ッテ蠶種業者ノ經營上ノ改善ヲ促シ、優良蠶種ノ普及徹底ヲ圖リ、サウシテ大企業ノ形態ニ對抗セシメル所ノ策ヲ立テ、居ラレマスガ、今日ノ如キ状態デハ、中々中小業者ノサウシク經營ヲ俟ッテ、ソレカラ優良蠶種ノ配付ヲ期待スルコトハ、洵ニ待遠イヤウナ感ジガ致スノデアリマス、政府ハ急ニ之ヲスル必要ガナイト云フ別個ノ御考ガアルナラ、ソレヲ伺ヒタイ

考ヘテ居ル次第アリマス

○百瀬委員

原蠶種ノ國家管理ノ成績ノ分

ラヌ中ニ、普通蠶種ノ國家管理ヲスルコト

ハ、早計ニ失スルト云フヤウナ御意見デア

リマスルガ、私ノ理想カラ言フナラバ、原

蠶種ト同時ニ普通蠶種ノ國家管理ヲスルノ

デナケレバ、決シテ萬全ニ蠶種方面ノ改善

ハ期待スルコトガ出來ナイ、斯様ニ考ヘテ

居ルノデアリマスガ、併シ政府ニ於テサウ

シタ御用意ノアルモノトシテ、マア此程度

デ此問題ニ付テハ質疑ヲ中止シテ置キマス

モウ一ツ御尋シタイコトハ、昨日モ他ノ

委員カラ御話ガアリマシタガ、産繭ノ生産

費デアリマス、産繭ノ生産費ニ對スル所謂

現金支出、自給費ノ基準ニ付テハ、私モ養

蠶家ノ立場ヲ稍、無視シタル傾向ニアルヤ

ウニ思ハレルノデアリマスガ、其繭ノ生産

費ニ付キマシテハ、全縣一樣デハナイノデ

アリマシテ、其産繭ノ所謂主要府縣トモ申

サレマスル長野トカ、或ハ山梨トカ、或ハ

群馬トカ、福島トカ、愛知、岐阜ト云フヤ

ウナ主要府縣ハ勿論ノコト、各府縣ニ依ッテ

氣候風土ヤ四圍ノ状態ガ非常ニ異リ居ル

關係上、生産費モ隨テ異ル譯ナノデアリマ

ス、デ獨リ生産費ヲ算定スル基準バカリデ

ナク、總テ生産統制ノ用意ノ必要上カラ言

ウテモ、異ル各府縣ノ状態ヲ精細ニ調査致

シテ、サウシテ其府縣ニ適應スルヤウナ組

ミ方ヲセナケレバナラナイモノト考ヘラレ

ルノデアリマス、全國劃一的ノ基準ハ其府

縣ニ依ッテハ意外ナル所ノ憂ヲ貽スヤウナ

結果ニ相成ルト考ヘラレマスルガ、當局ハ

是等ノ生産費ノ基準、或ハ統制上ノ根據ヲ

主要府縣ト主要府縣ニアラザル府縣トノ標

準ヲ、何等カニ依ッテ見極メテ、只今申ス期

待ニ副フヤウニ出來ル御考ヲ持ッテ御居デ

デアルカドウカ、其點ヲ御尋ネ致シマス

○井野政府委員 總テノ蠶絲對策ヲ行フ上

ニ付キマシテ、養蠶ヲ主業トシテ居ル地方

ト、之ヲ主業デナク副業的ニヤッテ居リマス

地方ト、色々其場合々々ニ依リマシテ、當

局トシテノ考モ變ヘテ行カナケレバナラヌ

コトハ、御説ノ通りデアリマス、現ニ昭和

九年ニ蠶絲恐慌ガ起リマシタ時モ、長野、

群馬其他ノ地方ニ對シマシテハ、當局トシ

テハ出來ルダケ厚ク援助ヲ致シ、其他ノ府

縣ニハ比較的、ソレ等ノ養蠶地方ニ較ベテ

薄イ援助ヲ致シテ居ルノデアリマス、本案

ノ施行ニ當リマシテモ、或ハ生産費ノ調査

等ニ當リマシテ、勢ヒ御説ノ通りノ結果ニ

ナルト思フノデアリマス、何故カト申上げ

マスナラバ、生産費ヲ調査シマスル養蠶農

家ヲ選ブニ致シマシテモ、其數ノ割合、即

チ濃度ノ關係カラ長野、群馬方面ニ於テハ、

多クノ養蠶家ヲ取ッテ生産費ヲ調べルト云

フコトニナリマスルカラ、勢ヒ其方面ノ事

情ヲ十分ニ織込シテ調査ガ出來ルコト、

思ッテ居ルノデアリマス、是等ハ本法ノ運用

ノ際ニ當局トシマシテモ十分ニ考慮ヲ致シ

タイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○百瀬委員 昨日一寸私ハ聽キ漏シマシタ

ガ、産繭ノ生産費ノ基準トナルベキモノ、

中ニ、養蠶家ノ労働賃銀ヲドウ云フ風ニ算

入スルカシナイカト云フ點ニ付テ今一寸承

リタイ

○井野政府委員 從來ノ調査ニ依リマス

ト、農林當局トシマシテ調査シマシタモノ

ハ、養蠶實態調査ト云フモノデ、養蠶農家

ノ經濟ノ經營ノ調査ヲ致シタノデアリマ

ス、隨テ生産費調査ト云フ目的デ致シテ居

リマセキカラ、是方直チニ全國ノ生産費デ

アルト云フコトヲ申上げラレナイコトモ、

昨日申上ゲタ通りデアリマス、ソレ等ノ調

査等ニ於キマシテ、勞賃ヲドウ見テ居ルカ

ト申シマス、桑代詰リ桑葉代、桑葉代ノ

中ニハ買桑ヲ致シタモノト、自分デ桑園ヲ

持ッテ桑ヲ採ッタモノトゴザイマス、桑園ヲ

自分デ持ッテ者ノ中デモ、其ノ勞力ヲ自ラ出

シテ居ル者モアリマスレバ、或ハ雇入レテ

出シテ居ル者モアリマス、大體勞賃ハ日雇

ヲ標準トシマシテ計算シテ居リマシテ、御

手許ニ本日差上ゲマシタ表ニ依リマシテ

モ、勞賃ガ繭一貫目ニ付キマシテ一圓四十

三錢六厘ト云フ風ニナッテ居リマス、又全國

養蠶業組合聯合會デ調べマシタモノデハ一

圓二十二錢、帝國農會デ調べマシタモノデ

ハ一圓三十三錢ト云フ風ニナッテ居リマス

○百瀬委員 只今御答ノ生産費ニ付テハ尚

ホ幾多ノ私ハ疑問ヲ持チ、尚ホ御尋シタイ

事ガアルノデスガ、他ノ委員ノ御質問ノ關

係モアリマスカラ、是ハ關聯事項トシテ、

或ハ別ノ機會ヲ得テ御尋フスルトシテ、其

點ハ保留シテ置キマス、尚ホ本法ノ各條ニ

互リ審議ノ上ニ付テ申上ゲタイ事モ多々ア

リマス、ソレモ其機會ニ讓リマシテ一應私

ハ是デ質問ヲ打切りマス

○紫安委員長 森君

○森委員 昨日來各委員ヨリ御質問ニナリ

マシタノデ、私ノ聞カントスル所ハ、大體

質疑ガ終ッテ居ルヤウデアリマスガ、尚ホ十

分ニ了解ヲ得ナイ點モアリマスノデ、或ハ

重複スル場合モアルカモ知レマセヌガ、御

尋致シタイト思フノデアリマス、マダ農林

大臣ハ御出席ニナッテ居リマセヌケレドモ、

政府委員トシテ御答辯ヲ願フテ差支ナイノデアリマスルガ、農林省關係ノ三ツノ法案ガ既ニ議會ニ提案サレマシテ、ソレヲ吾々審議致シマス時ニ、斯ウ云フ氣持ガアッタヤウニ思フノデアリマス、是等ノ法案ハ何レモ完全シテ居ラナイ、肥料ノ問題ニシマシテモ、米ノ問題ニシマシテモ、繭ノ問題ニ致シマシテモ、完全シテ居ラナイ、併シ此三ツノ法案ハ、色々ト今日マデ各業者ノ摩擦ガアッテ、紛糾ニ紛糾ヲ重ネテ來タ此三ツノ法案ガ若シモ行詰ッテシマフヤウナコトガアレバ、今後農林政策ト云フモノハ實現スルコトガ困難デアアル、丁度溝川ニ物ガ停滞致シテ居ル、先以テ此滞ッテ居ル物ヲ除去シナケレバ、後カラ水ヲ流スコトガ出來得ナイ、不完全デアアル、不十分デアアルガ、兎ニモ角ニモ此三ツノ問題ハ通過シテ、サウシテ補強工作ハ後ヨリ考ヘタラ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ氣持ガアッタヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ産繭處理統制法案ノ如キモ、決シテ當初政府ガ豫期シ、又吾吾ガ豫期シテ效果ヲ現ハスコトニ付テハ、其實行ノ上ニ於テ幾多ノ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、幸ニ産繭處理統制法案ガ實現致シマシ。結果トシテ、茲ニ昨年當時ノ附帶決議ニ基イタト農林大臣ハ本會議ニ

説明サレマシタガ、絲價ノ法案ガ提出サレタコトハ、吾々業者トシテ其目的ヲ達成スルコトガ出來タコトヲ欣ブ者デアリマスガ、アノ當時ノ附帶決議ハ、今少シク積極的ナ意味デアッタヤウニモ思フノデアリマス、先般農林大臣ハアノ附帶決議ノ趣旨ニ依ッテ、此法案ヲ提出シタト云フコトヲ、篠原議員ノ質問ニ御答ニナッテ居リマスルガ、甚ダ私ハ其當時ノ附帶決議ノ意思ト違ッテ居ルヤウニモ考ヘルノデアリマス、アノ當時ハ蠶絲業ノ窮極ノ目的トシテ、生絲ノ實際の商品デアアル以上、其生絲ヲ合理的ニ販賣スルト云フコトデナケレバ、有ユル幾多ノ施設ヲ行ッテモ駄目デアアル、ソレデアルカラ政府ハ速ニ生絲ノ販賣統制ニ對スル法案ヲ考ヘ、斯ウ云フ意味デアッタノデアリマス、然ルニ今回提案サレマシタノハ絲價ノ安定施設デアリマス、此國內ニ於ケル有ユル施設ニ依ッテ絲價ヲ安定シヨウ、斯ウ云フ甚ダ消極的ノ施設ト考ヘルノデアリマスガ、此點ハ或ハ見解ノ相違ト言ハレ、バソレ迄デアリマスガ、私ハ尙ホ是デハ我が日本ノ國ノ蠶絲業ノ根本策トシテ考ヘルコトハ出來得ナイ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、政府當局トシテ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカ、又此法案ニ依ッテ満足サレルナ

ラバ、蠶絲業ニ對スル色々ノ施設、或ハ法案ト云フモノハ、モウ是デ打切ラレルト云フヤウナ氣持ガシテナラナイ、マア、是デ蠶絲業ニ對スル有ユル各般ノ施設ガ出來タカラ、先ヅ當分蠶絲業ノ問題ハ、是デ終リダト云フヤウナ氣持ヲ政府自身ガ持ッテ居ラレハシナイカト云フヤウナ氣持モ致スノデアリマスガ、先ヅ色々御尋スル前ニ當リマシテ、此根本精神ト申シマスカ、此點ニ付テ政府當局ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

**○井野政府委員** 只今森委員カラ御質問ニナリマシタ昨年ノ特別議會ニ於ケル産繭處理統制法御可決ノ際ニ於ケル、附帶決議ノ御趣旨ノ點デゴザイマスガ、是ハ私共了承致シテ居リマスルノハ、アノ當時産繭處理統制施設ト併セマシテ、政府部内ニ輸出生絲販賣統制調査會ト云フモノヲ設ケマシテ、其調査會デ一ツノ販賣統制ニ關スル具體案ガ出來テ居ッタノデアリマス、ソレヲ其當時併セテ提案致シマセヌ爲ニ、議會ノ御議論トシマシテモ、産繭處理統制法ダケデハ車ノ一輪デアッテ、政府ガ目下一ツノ案ヲ持ッテ居ル販賣統制施設ヲ併セテ實施シナケレバ、車ノ兩輪ヲ得ナイコトニナルカラ、蠶絲對策トシテ非常ニ變則デアルト云フ御

議論ガ強カッタノデアリマス、其結果産繭處理統制法ヲ御可決ノ際ニ、附帶決議トシテ販賣統制ニ關スル具體案ヲ提出シロ、斯ウ云フ御決議ニナッタモノト私共ハ心得テ居ルノデアリマス、然ラバ其當時政府部内ニ設ケマシタ輸出生絲販賣統制調査會デ出來上ッテ、所謂販賣統制ニ關スル具體案ト云フモノハ、ドウ云フモノデアッタカト言ヘバ

〔委員長退席、横川委員長代理著席〕

其目標トシマスル所ハ、絲價ノ安定ニアルノデアリマスガ、手段トシテ輸出生絲ノ販賣ヲ、業者ノ自治的組合ニ依ッテ統制スルコトニ依ッテ目的ヲ達シヨウト云フノガ、其案ノ内容デアアルノデアリマス、言ヒ換ヘテ見マスレバ、業者自體ガ一ツノ組合ヲ作りマシテ、其組合デ最高最低ノ値ヲ決メマシテ、高値ニナレバ自ラ自治ノ手段ニ依ッテ之ヲ抑ヘ、又安値ニナレバ自ラ資金其他ノ調達ニ依ッテ、之ヲ維持スルト云フ案デアッタノデアリマス、隨テ其手段トシテハ専ラ自治的ニ致スノデゴザイマスルカラ、其力モ比較的強クナイモノデアラウト、私共思ッテ居ッタノデアリマス、併シ其後色々研究シテ見マスルト、唯ソレダケデハ完全ナル販賣統制ハ出來ナイ、ドウシテモ茲ニ國家ノ相當ニ強イ援助ヲ與ヘナケレバ、十分其施

設ノ達成ヲ期シ難イト云フコトヲ考ヘマシテ、今回ノ案ニ於キマシテハ、其自治的統制手段ニ加ヘマスルノニ、國家ノ援助ノ手段ヲ用ヒマシテ、其案ヲ強力化シタ積リデアアルデアリマス、即チ現在政府ノ持ッテ居リマス五萬俵ノ生絲ヲ以チマシテ、高値抑制ノ手段ニ使ヒマスルシ、又米穀統制法ト同ジヤウニ、短期證券及ビ借入金ニ依リマシテ、七千萬圓ノ資金ヲ用意スルコトニ依ッテ、安値ノ調節ガ出來ルト云フコトニ致シマシタノハ、吾々當局トシマシテハ、アノ當時其調査會ヲ立案シマシタ案ヨリハ、更ニ強力ナル一ツノ案デアルト、實ハ自信致シテ居ルノデアリマス、隨テ今回ノ案ヲ御協贊ヲ願フコトニナリマシタコトハ、アノ當時ノ附帶決議ノ御趣旨ヨリモ、モット政府トシテハ強力ナルモノヲ作り得タト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、デゴザイマスルカラ決シテ此案ガ、アノ當時ノ附帶決議ノ御趣旨ニ副ハナイ案デアアル、或ハモット生溫イ案デアルト云フ風ニハ、當局トシテハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマスルガ、併シ今御話ノ輸出生絲ノ合理的販賣ノ色々ナ統制ニ付テノ手段トシマシテハ、無論此案ダケデ十分デアルトモ考ヘテ居リマセヌカラ、ソレハ今後出來マスル組合ノ運

用ニ依リマシテ、或ル程度ノ目的ヲ達成シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、又此案ヲ以チマシテ全部ノ蠶絲對策ガ成レリトモ、當局ハ考ヘテ居リマセヌ、無論將來色々ニ施設スベキコトガ多々アルノデアリマスガ、大體ノ筋道、即チ昭和八年ニ農林當局ガ立テマシタ目標ニ向ッテノ具體的施設ノ大筋ガ、マア大體是デ成立ツト云フコトダケハ申上ゲ得ルト思ヒマス、併シマダ今後幾多ノ研究ヲシナケレバナラヌ問題、又ハ施設ヲ致サナケレバナラヌ問題ガ澤山アルコトハ、是ハモウ無論當局トシテモ考ヘテ居リマスノデ、先程百瀨委員ノ仰セニナリマシタ普通蠶種ノ國家管理ト云フ問題モ、今後大イニ研究シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

**○森委員** 尙ホモウ少シク了解ヲ得ナイノデアリマス、更ニ附帶決議ヨリハ一層強化シタト仰シヤル、大分吾々ノ考ト違フノデアリマスルガ、是ハ議論ニ陥ルト思ヒマス、次ニ今回ノ絲價安定施設ノ本法ニ依リマス、此買入レ若クハ賣渡シノ統制サレノ生絲ハ、輸已向ノ生絲ノミト考ヘテ宜イノデアリマスルガ、二〇%ニナッテ居ル所ノ國用向ノ生絲ヲ、ドウ云フ風ニ御考ニナッ

テ居ラレマスカ、又ソレニ關聯シマシテ絲價安定ノ融資擔保生絲買收法ト申シマス、此法案ニ依ッテ國家ガ現在手持ニナッテ居ル數量ハ、ドノ位アルノデアリマスカ、其中五萬俵ヲ今回ノ施設ノ財源トシテ計上スルト云フコトニナッテ居リマスカ、現在ハドレダケノ數量ガアルノデアリマスカ、又其品質ハ昨日ノ御答辯ニ依リマスカ、相當ノモノデアアル、色コソ惡ケレ相當ノモノデアアル、斯ウ云フヤウナ御話ニナッタノデアリマスルガ、是等ノ絲ハ現在ノ橫濱、神戸ノ生絲検査所ノ検査ヲ受ケテ居ラナイノデアリマスカ、アレヲ出庫サレテ、サウシテ今検査ヲ受ケルト、ドノ位ノ格ノモノデアアルカ、其モノハ輸出ノ可能性ハナイト私ハ考ヘマスルガ、本法ガ輸出生絲ノ價格ヲ統制スルコトヲ目的トシタ場合ニ、輸已向ニ出來ナイ所ノ生絲ヲ市場ニ出シテ、以テ價格ノ高低ヲ按排スルコトガ出來ルデアラウカト云フ所ニ、疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、此保管シテ居リマスル數量竝ニ品位、サウシテ國用向ノ生絲ノ價格安定ニ對シテ、ドウ云フ風ナ御考ヲ御持チニナッテ居ルガ、此點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

**○井野政府委員** 今回ノ法案ニ依リマシテ賣買ヲ致シマスル生絲ハ、必シモ輸已向ト

ハ限ッテ居リマセヌ、併シ橫濱、神戸ノ検査所ノ検査ヲ受ケタモノニ限ラウト思ヒマス、是ハ品質ヲ確定シマス上ニ於テ、アノ検査ヲ受ケテ居リマセヌト、政府トシテモ持ッテ參リマス上ニ於テ、種々支障ガゴザイマスカラ、國立検査所ノ検査ヲ受ケタ生絲デアリマスレバ、必シモ輸已向ニ致サナクテモ、國內向トシテ使用サレルモノデモ、取扱數量ノ中ニ入レル積リデアリマス、又第二段ノ現在ノ政府所有ノ生絲ノ中、ドレダケヲ此施設ニ向ケルカト云フコトデアリマスガ、全部ヲ向ケル積リデアリマス、其數量ハ本年度末ニ於キマシテハ、大體五萬俵前後デアラウト思ヒマス、是ハ現在マダ賣ッテ居リマスカラ、數量ハ動キマスケレドモ、大體五萬俵前後ト御諒承願ヒタイノデアリマス、此現在持ッテ居リマス生絲ハ、検査所ノ検査ハヤハリ受ケテ居ルノデアリマス、現在ノ規則ニ依ル検査デハアリマセヌガ、此前ノ改正前ノ標準ニ依ル検査ヲ受ケテ居リマス、隨テ之ヲ輸出シマス場合ニモ、一般ノ輸已向ニナルノデアリマスケレドモ、恐ラクハ今之ヲ賣出シタト致シマシテモ、直チニ之ヲ亞米利加ニ持ッテ行クカドウカト云フコトハ、私共モ必ズ持ッテ行クモノデアルトモ考ヘテ居リマセヌ、若シ假

ニ此生絲ガ五萬俵市場ニ出マスレバ、是ハ國用生絲ノ部分ニモ立派ニ代用サレマス、隨テ或ハ外國ガ新絲ヲ欲スレバ、國用生絲ノ中ノ良イモノガ、又輸出向ニナッテ參リマスカラ、隨テ此全般的ノ數量ノ中ニ於キマシテハ、生絲ガ出マスコトニ依ッテ、ヤハリ海外ニ對スル輸出量ハ殖エル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此生絲ガ下ノ位市場操作ニ效果ガアルカト云フコトハ、昨日モ一例ヲ以テ申上ゲタノデアリマスガ、一昨年デアリマシタカ、昨年デアリマシタカ、政府ガ此生絲ヲ市場ニ賣出スト云フ報道ガ傳ハリマシタ時ニ、市場ハ非常ナ詰リ脅威ヲ感ジマシテ、市價ノ暴落ヲシタト云フ實績カラ見マシテモ、此生絲自體ニ相當ノ市場操作ノ威力ノアルコトハ、業者モ認メテ居ル次第ゴザイマス

○森委員 次ニ御尋致シタイコトハ、價格ヲ御決定ニナルノニ付キマシテ、生絲ノ相場ヲ人絹ノ三倍乃至四倍ト云フコトヲ先ヅ今日ハ考ヘテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、此人絹ノ相場ト云フモノハ、内地ニ於ケル人絹相場ヲ御考ニナッテ居ルノデアアルカ、或ハ又亞米利加ニ於ケル人絹相場トシテノ御考デアアルカ、ドチヲ御考ニナッテ居ルカ御尋致シマス

○井野政府委員 現在生絲ニ對シマシテ人絹ガ相當ノ影響ヲ齎ラシテ居リマス點ハ、是ハ國內ニ於ケル市場ト海外ニ於ケル市場ト、私共ハ常ニ區別シテ考ヘテ居リマス、國內ニ於ケル市場ノ影響ト云フモノモ、無論相當考ヘマスケレドモ、併シ是ハ我が國民ガ生絲ニ對スル愛着心ガ強イ爲ニ、海外ニ於テハヒドイ影響ハ受ケテ居ラナイノデアリマス、隨テ此生絲ノ需要擴充、或ハ需維持ト云フ見地カラ、人絹ヲ考ヘテ參リマスニハ、常ニ海外ニ於ケル人絹ノ影響ト云フモノヲ考慮ニ入レテ居ルノデアリマス、隨テ先日來申上ゲテ居リマス賣渡價格ノ目標ヲ、人絹ノ三倍乃至四倍ノ所ニ置クト云フコトモ、主トシテ亞米利加ニ於ケル人絹相場ヲ目標ニ致シテ居リマス

○森委員 次ニ御尋致シタイコトハ、只今百瀬委員ヨリ御尋ニナリマシタ政府委員ノ御答辯ニ付テ、私モ少シク了解シ得ナイ、今回價格ヲ決定サレルニ當リマシテ、製絲ノ生産費ト販賣費ヲ合シテ、之ヲ價格ノ中ニ加算サレテ居ルノデアリマスガ、繭ノ生産費ニ付テハ、甚ダ昨日來ノ御答辯ガ不親切デアル、ドウモ絲價ヲ決定スルニ付テ、繭ノ生産費ト云フモノヲ輕視サレテ居ルト云フコトヲ、御同様ニ考ヘラレテ居ルヤウ

ニ思フノデアリマス、是ハ能ク一ツ御考ヲ顯ヒタイコトハ、一體農産物ノ價格ト云フモノハ、全ク逆算的ニ決ッテ居ルノデアリマス、絲ノ價格ヲ決メルノニ、何處カラ其價格ヲ決メルカト云フト先ヅ生産費ト云フモノヲ見、サウシテ販賣費ヲ見、ソレカラ其生絲ガナンボノ相場デ賣レテ居ルト云フ結果ヲ見テ、サウシテ第一ニ原料ト云フモノ、價格ヲ推定サレル、是ハ洵ニ自然ノヤウニ思フノデアリマス、繭ヲ生産スルノニ是ダケノ桑葉ガ要ル、是ダケノ人件費ガ要ル、是ダケノ作業保温費ガ要ル、其他總テノ經費ガ掛ッテ來ル、ソレデアアルカラ繭ト云フモノハ是ダケノ價格ヲ持ツコトガ正當デアル、此一定ノ生産費ヲ見タ繭ニ、一定ノ加工料ヲ見、一定ノ利潤ヲ加ヘテ、ソコニ生絲ト云フモノ、價格ガ出來テ來ル、斯ウ云フノガ先以テ適當ナル價格ノ算出方法デナケレバナラヌノデアリマスガ、農産物ト云フモノハ、米ニシロ繭ニシロ、ドウモ結果カラ推算サレテ、其價格ヲ見積ラレルト云フ實ニ不合理ナ立場ニアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ今日政府ノ御考ニナルニ付キマシテモ、ヤハリ繭ノ加工販賣費ト云フモノヲ、製絲ノ生産費トシテ御考ニナッテ、サウシテ原料デアアル所

ノ繭ニ對シテハ、其生産費ト云フモノヲ、非常ニ輕視サレテ居ルト云フヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ此價格ノ決定ニ依ッテ、國內ノ産繭ヲ或ル程度ニ整理シヨウト云フヤウナコトモ、御考ニナルヤウデアリマスガ、工産物ト違ヒマシテ、農産物ト云フモノハ、サウ自由ニ生産ヲ制限スル、或ハ之ヲ遠ニ殖ヤスト云フヤウナコトハ恐ク出來得ナイ、是ハ農林當局モ掃立制限ヲオヤリニナッタコトガアルカラ、苦キ經驗ヲ御積ミニナッテ居ルカラ御承知ノコト、思フ、掃立ヲセヨ、桑園整理シロト言ッテモ、果シテ其桑園ガ整理ガ出來タデアラウカ、考ヘラレテ居ルコト、實際トハ能ク逆ノ結果ヲ現ハシテ居ルコトガアルコトハ、要スルニ此原始産業ト云フモノハ、左様ニ算盤ヅクデ行カナイト云フコトヲ、私ハ物語ルモノデハナイカト思フノデアリマス、ソレニハ非常ナ缺陷ガ伴ッテ居ル、ソレハ今百瀬委員ノ言ハレタ通り、普通蠶種ト云フモノ、國家管理ガ出來テ居ラナイ、又其原料生産ノ第一位ヲ占メテ居ル桑ト云フモノ、整理ガ出來テ居ラナイ、桑園ノ國家的管理ガ出來テ、是々ノ繭ガ我國トシテ必要デアアル、此原料生産ニハ是ダケノ桑園ガ要ル、サウシテ是ダケノ桑園ニ

依テ極力獎勵シ、サウシテ一段歩當リノ  
收葉量ヲ此程度ニマデ殖ヤスト云フコトノ  
目的トシテ、先以テ桑園ノ整理ヲスル、サウ  
シテ掃立テル所ノ普通蠶種ニ於キマシテ  
モ、是ハ今百瀬サンノ言ハレタ如クニ、國  
家經濟上カラ申シマシテモ、實ニ莫大ナ損  
失ヲ年々繰返シテ居ルノデアアル、統計ガ百  
瀬サンノ御算出ト多少私ハ違フノデアアリマ  
スガ、昨日配付サレマシタアノ統計表ニ依  
リマシテモ、九年度ノ蠶種ノ製造額ガ二億  
七千二百五十七萬四千九百九十九瓦ノ製造デア  
リマス、此昭和九年度ニ生産サレマシタ二  
億七千萬ノ蠶種ガ、十年度ニドレダケ掃立  
テラレテ居ルカト申シマスルト、一億五千  
百十七萬六千七百二十六瓦デアリマス、約  
四割五分四厘ト云フモノガ、過剩蠶權トシ  
テ拋棄サレテ居ルノデアリマス、所ガ蠶種  
製造業者ト云フモノハ、若シ今年ハ種ガ餘  
ル、サウスレバ隨分無理ナ掃立ヲ強ヒラレ  
ルノデアアル、養蠶業者ハ十瓦掃ク、或ハ五  
十瓦掃クト云フコトヲ豫定シテ、自分ノ桑  
園能力ヲ考ヘテ、自家ノ努力ヲ考ヘテ、豫定  
シテ居リマスル掃立瓦ガ、蠶種過剩ト云フ  
コトニ禍ヒサレテ殖エルノデアアル、或ハ六  
十瓦ニナリ或ハ七十瓦ニナッテ掃立テサセ  
ラレルガ爲ニ、養蠶家ハ知ラズ識ラズノ間

ニ蠶ヲ澤山置ク、ソレデ掃立當時カラ飼育  
ノ基礎ガ間違ッテ居ルカラ蠶作モ不安定デ  
アル、偶、完全ニ發育致シマシテモ、壯蠶期  
ニナッテ飼養ノ考ヘ違フ起シテ來ル、是ハ澤  
山アル實例デアリマス、是ハ農林當局モ獎勵  
方針上能ク御承知ニナルガラウト思フノデ  
アリマスガ、斯ノ如キ普通蠶種ノ製造状態  
ヲ放任シテ置イテ、果シテ吾々ノ考ヘルヤ  
ウナ統制ノアル此蠶種業ト云フモノヲ、經  
營シ得ラレルガラウカト云フコトニ疑フ置  
クノデアリマス、蠶種製造業者ガ其四割五  
分モ剩ス所ノ蠶種ガ不良蠶種ナラバ宜イノ  
デアリマスガ、過剩蠶種必シモ不良蠶種デ  
ナイノデアリマス、不良蠶種ガ掃立テラレ  
テ優良蠶種ガ過剩ニ殘ッテ居ル事實ガ澤山  
アル、農林大臣ハ先般原蠶種ノ國家管理ガ  
實現スレバ、品種ノ統制ガ行ハレ、ソレニ  
依ッテ漸次普通蠶種ノ製造モ制限シテ行ク、  
斯ウ云フヤウニ御話ニナリマシタガ、ソレ  
ハ多少サウ云フ風ナ傾向ニハナッテ參リマ  
セウ、ケレドモ是ハ效果ガナイ、今百瀬委  
員ガ言ハレタ如ク、普通蠶種ノ國家管理ト  
云フコトヲ吾々ガ要望スル目的ト、原蠶種  
ノ國家管理ノ目的トハ、全然違フノデアアル、  
是ハ政府委員モ言明サレタ如クニ、蠶種ノ  
品種ヲ統制シテ行ク、優良品種十何種ニ統

制シテ行クト云フコトガ、原蠶種國家管理  
ノ目的デアッテ、普通蠶種ノ國家管理ヲ吾々  
ガ叫ブコトハ、徒ナル努力ヲナクシテ、本當  
ニ是ダケノカラ、五割ノ努力ヲ餘所へ棄テ  
テ居ル此努力ヲ、入用ナル蠶種ノ努力ニ使  
フ、二千貫ノ種繭ヲ生産シナケレバナラナ  
イ努力ヲ、一千貫ニ止メテ、サウシテ完  
全ナル蠶種ヲ製造スル、サウシテ蠶作  
ノ安定ヲ期スル所ノ、立派ナル普通蠶種  
ヲ作り上ゲルト云フコトガ、ドウシテモ  
茲ニ統制アル國家管理ノ下ニ普通蠶種ヲ  
置カナケレバナラナイ、斯様ニ私ハ考ヘ  
ルノデアリマスルガ、偶、政府ハ曩ニ此蠶種  
製造ニ對シテモ、共同施設組合ヲ獎勵ニ  
ナッテ居ルノデアリマスルガ、共同施設組  
合ハ相手方ノ共同的施設ヲ持ッテ居ルコト  
ガ條件ト、私ハ考ヘルノデアリマス、蠶種  
製造業者ガ共同施設組合ニ依ッテ施設ヲ行  
フ、成程生産スル所ノ普通蠶種ハ、其統制  
ノ下ニ完全ナル共同生産ガ出來テ、立派ナ  
モノガ出來ルデアリマセウガ、其出來マシ  
タ蠶種ガ果シテドウ云フ風ニ賣ラレルノデ  
アルカ、蠶種製造業者ハ全國ガ得意デアリ  
マスルカラ、長野縣ノ蠶種ガ滋賀縣ニ行キ、  
滋賀縣ノ蠶種ガ兵庫縣ニ入ルト云フヤウ  
ニ、其販賣ハ區々デアリマス、區々デアリ

マスルカラ、折角施設組合ニ依ッテ完全ニ統  
制シマシタ蠶種ガ、其效能ヲ現ハシ、消費  
サレ、掃立テラレル所ノ養蠶家ガ區々マチ  
マチデアル場合ニ於テハ、折角ノ統制モ效  
果ヲ現サナイ、斯ウ云フコトニナルノデア  
リマシテ、原蠶種國家管理ノ施行、サウシ  
テ蠶種ノ共同施設組合ノ設立ニ依ッテ、ドウ  
シテモ完全ナル蠶種統制ノ基礎ヲ作ッテ  
行クトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ  
考ヘルノデアリマス、又此桑園ノ管理デア  
リマスガ、徒ナル桑園ヲ持ツト云フコトハ、  
第一繭ノ生産費ヲ高メルコトデアリマス、  
サウシテ又此普通蠶種ノ今日ノヤウナ過剩  
ニ苦シンデ居ルト云フヤウナコトハ、優良  
蠶種ノ産出ニ非常ニ妨害ヲ致シテ居ルノデ  
アルカラ、速ニ普通蠶種ノ國家管理ト云フ  
コトヲ實施シテ、サウシテ各蠶種業ノ團體  
ガ、統制アル下ニ國家ノ蠶種業ノ對策ニ邁  
進スルト云フコトニセナケレバナラヌト私  
ハ考ヘルノデアリマスルガ、此普通蠶種國  
家管理ニ對スル御意見、又此桑園ノ統制管  
理ニ對スル所ノ御意見、サウシテ絲價決定  
ニ對シテ、繭ノ生産費ト云フモノヲ考ヘテ  
居ラレル其考ヘ方ガ、根本的ニ間違ッテ居  
シナイカト云フ私ノ考ヘ方ニ對シテノ御答  
辯ヲ得タイト思ヒマス

○井野政府委員 先づ第一段ノ此價格決定

基準デアリマスル繭ノ生産費ノ考ヘ方ニ付テ、當局ガ間違ッテ居ル考ヲ持ッテ居リハセヌカト云フ御話デゴザイマスルガ、是ハ先日來カラモ度々申上ゲテ居リマシヤウニ、生絲ノ價格構成ト云フ問題ハ、先程森委員ガ御話ノヤウニ、所謂逆算的ノ行キ方ニナテ居ル、是ハ原理カラ申シマスレバ、無論一番初メ出來マスモノ、生産費ヲ見テ、ソレニ利潤ヲ加ヘ、更ニ加工費ヲ加ヘテ販賣値段ト云フモノガ出來テ、ソレニ基イテ販賣者ガ買ッテ參リマスレバ、是ガ筋デアリマス、是ガ若シモ生絲ト云フモノガ必需品デアリ、而モ競争品ガゴザイマセヌケレバ、需要供給ノ關係ニ於テ價格構成ト云フモノガ、サウナッテ行クベキモノデアル、即チ供給者ノ方ガ強ク、需要者ノ方ガ多少弱イ立場ニナリマスルカラ、サウ云フ關係ニナラウト思ヒマス、所ガ生絲ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ國民ノ必需品デハゴザイマセヌ、一種ノマア贅澤品トハ申シマセヌガ、サウ云ツタヤウナ程度ノモノデアリ、而モ競争纖維ノゴザイマスモノデアリマスカラ、是ハ寧ロ消費者ノ立場ノ方カラ値段ガ決ッテ來ル場合ガ多イノデアリマス、其爲ニ生産過程ニ居リマス者ガ、多少生産費ヲ割ル

ヤウナ場合ニ於キマシテモ、尙ホ之ヲ賣ッテ行カナケレバナラヌト云フ實情ニアルノガ、今日生絲ノ特異性デアリマス、此特異性ヲ私共ガ無視シテ、總テノ案ガ出來得ナイト云フコトガ、繭生産費ニ付キマシテモ、一ツノ已ムヲ得ザル考ヘ方トシテ持ッテ行キ方デアリマス、即チナゼ製絲ノ加工費ダケヲ完全ニ保障シテ繭ノ生産費ヲ完全ニ保障シナイカト申シマス、今申シマシタヤウニ消費ノ方カラ逆算サレテ來テ、繭ノ釜入値段ト云フモノガ決ッテ參リマスカラ、若シモ價格構成ノ場合ニ於テ、繭ノ釜入値段ト云フモノヲ、完全ニ生産費ヲ保障スル意味ニ於テ構成シマス、生絲ノ値段ト云フモノガ自然ニ高クナッテ參ルノデアリマス、即チ先日申シマシタヤウニ、假ニ四圓ノ生産費、繭ノ一貫目ノ値段四圓ヲ保障スルト云フコトニナリマス、ドウシテモ生絲ノ値段トシテ現シマス場合ニハ六百圓以上ノ絲價ニナルノデアリマス、今日ノ情勢カラ見テ六百圓以上ノ絲價ヲ維持スルト云フコトハ、如何ナル法制ヲ以テシテモ非常ニ困難デアル、又サウ云フコトニナリマスレバ、結局増産ヲ誘發シ、又生産費低下ノ努力ヲ鈍ラシマスカラ、寧ロ其點ハモウ少シ低イ絲價ニナツタ場合ニ、國家ガ或ル程度ノ大キ

ナ保障ヲ與ヘルト云フコトデ、皆業者ハ我慢シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトカラ出發致シテ居ルノデアリマス、詰リサウナリマス繭ノ生産費全部ヲ「カバー」致シマシテ、算出シタ絲價ト云フモノニハナリ得マセヌカラ、其點ヲ法文ニ明カニスルト共ニ、生産費ト云フモノヲ十分ニ保障スルト云フ書キ方ニナッテ參リマス、養蠶家モ必ズ自ラ作ツタ生産費ヲ償ヒ得ラレルモノト云フ過信ヲ致シマシテ、色々ノ誤解ガ茲ニ生ジマスカラ、寧ロ此點ハ然ラザル所以ヲ明カニシテ、此程度デ一ツ我慢シテ貰ヒタイ、ソレデ此施設モ此程度ノ保障ヲスルニ止マル譯デアリマス、ソレデモ現在何モ保障ノナイ時代カラ見マスレバ、非常ニ是ハ強イ保障ト私共ハ考ヘテ居リマスカラ、此程度デ我慢シテ貰ヒタイト云フ趣旨カラ、茲ニ斯ウ云フ字句ヲ用ヒタノデアリマシテ、此點ハ昨日來篠原委員其他ノ委員カラモ色々御議論ガアリマシテ、私共能ク氣持ハ分ッテ居ルノデアリマス、分ッテ居ルノデアリマスルケレドモ、寧ロ正直ニ此點ハ養蠶農民ニ懇ヘテ、此施設ヲ實施シテ行ク方ガ正シイノデハナカラウカト云フコトカラ、斯ウ云フ風ニ致シタノデアリマス

次ニ普通蠶種ノ國家管理ノ問題デアリマスガ、是ガ原蠶種ノ國家管理ト自ラ目的ノ違ヒマスコトモ、能ク私共諒承致シテ居リマス、次ニ過剩蠶種ノ統制ノ問題ニ付テ先程御話ガゴザイマシタガ、過剩蠶種ノ統制ハ大體原蠶種ガ國家管理ニナリマスレバ、今日二三ノ非常ニ多量ナ品種ガ整理サレテ數種ニナリマスカラ、隨テ過剩蠶種ト云フ問題モ自ラ解決サレテ來ル、併シ販賣ノ上ニ於テノ統制ト云フ問題ニナリマスレバ、是ハ原蠶種ノ國家管理ダケデハ無論不十分デアリマスカラ、普通蠶種ノ國家管理ト云フ問題ニモ入ルノデアリマスケレドモ、併シ普通蠶種ヲ販賣シマス上ニ於テノ統制手段トシテ國家ガ之ヲ管理スルガ宜イカ、自治ニ依ッテ進ムガ宜イカト云フコトニナリマス、成ベク此營業ノ自由ト云フモノハ、自治的ノ統制ニ依ッテ先ヅ進ンデ行クコトガ筋道デアル、國家統制ニ入りマスニハ、ソレデモ不十分デアル、十分ニ統制ガ付カナイト云フ時ニ、初メテ私共ハ國家統制ニ入ルベキモノデアアル、イキナリ自治的手段ヲ講ジナイ先カラ、國家統制ヲ無暗ニ總テノ施設ニ行ッテ行クト云フコトハ、進ミ過ギタ考ヘ方デアルト云フ氣持ヲ持ッテ居リマスノデ、原蠶種ノ國家管理ガ實施サレマシテ其成績ヲ見マシテ、普通蠶種ノ國

家管理ニ研究ヲ進メテ行クコトガ筋道デア  
ル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ蠶  
絲業ノ事情ハ始終色々ノ變化モアリマス  
カラ、普通蠶種ノ國家管理ニ付テノ研究ハ、  
今十分致シテ居リマス、必要ガアレバ何時  
デモ此制度ヲ立テ得ル用意ハ出來テ居リマ  
スケレドモ、今直チニ之ヲ行フ積リハナイ  
ト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマ  
ス

次ニ桑園ノ管理ノ問題デアリマスガ、是  
モ私共ハ非常ニ其必要性ヲ認メテ居ルノデ  
アリマス、併シ全國ニ互リマシテ、五十五  
六萬町歩ノ桑園ヲ國方直接ニ管理スルト云  
フ問題ハ、非常ニ困難ガ伴フノデアリマス、  
御承知ノヤウニ桑ヲ植エタリ、抜イタリシ  
マスコトハ中々監督上困難ナ點ガ多數ゴザ  
イマスノデ、國家ガ自ラ之ヲ管理スルト云  
フコトノ必要ハ認メテ居リマスガ、非常ニ  
實施上ニ於テ困難ガアルノデハナカラウ  
カ、デアリマスカラ先ヅヤハリコレモ自治  
的ノ管理ニ依ッテ、或ル程度ノ目的ヲ達成シ  
テ行クコトガ然ルベキデアルト考ヘマシ  
テ、昨年桑ニ關スル主任官、所謂採桑主任  
官ヲ集メマシテ、桑園ノ自治的ノ管理ノ問題  
ヲ色々研究致シタノデアリマス、サウシテ  
養蠶實行組合ニ或ハ桑園臺帳ヲ備付ケサセ

テ置キマシテ、其履行ニ依リマシテ、自治  
的統制ニ資スルヤウニシタラドウカト云フ  
議ガ纏マリマシテ、目下其準備ヲ致シテ居  
ルヤウナ次第デアリマス、是モ或ル程度自  
治的統制ニ依ッテ、私共ハ全國ノ桑園ノ管理  
ヲシテ行クコトガ適當デアアル、斯ウ云フ風  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森委員 今ノ御答辯ニ依リマシテ、尙ホ  
見解ノ相違ト考ヘルノデアリマスルガ、普  
通蠶種ノ管理ニ向ッテ、自治的手段ニ依ッテ  
之ヲ統制シテ行ク見込ガアルト、當局ハ御  
考ヘニナッテ居ルノデアアルガ、製絲業者ノ方  
方ノハ、自治的ニ統制モヤッテ居ラレマス、  
又ソレガ出來ルノデアリマス、所ガ此蠶種  
製造業者ノ現狀ハ、自治的ニ之ヲ統制シテ  
行クト云フヤウナコトハ、私ハ絶對不可能  
ダト考ヘルノデアリマスガ、是ハ御見込違  
ヒダト言ヘバソレ迄デアリマスガ、事實ニ  
於テ私ハ出來マイト思フ、是ハ事實ニ於テ  
出來ルト政府ハ御考ヘニナッテ居ラレルノ  
カ、此點トサウシテ原蠶種國家管理ノ實現  
ニ依ッテ、蠶品種ノ數ヲ減ラシテ行ク、サウ  
スレバ隨テ過剩蠶種ト云フモノハ出來得ナ  
クナル、斯様ニ御考ヘニナッテ居ルコトハ  
甚ダ實際ト違ッテ居リハシナイカ、生産シマ  
シタモノガ何等ノ約束モナク、豫約蠶種ト

シテ、豫約製造トシテ蠶種ガ製造サレマス  
ナラバ宜イノデアリマスガ、サウデハナイ  
ノデアリマス、豫約製造ト云フモノ以外ニ、  
何處ヘ賣レルカ、自分ノ腕デ競争的ニ賣ッテ  
見ヨウ、斯ウ云フ風ナ考デ蠶種ハ製造サレ  
ルノガ多イノデアリマス、又自分ハ一萬瓦  
ノ蠶種ヲ製造シヨウト思フ、併シ一萬瓦ノ  
蠶種ハ完全ニ製造スルコトガ出來得ナイカ  
ラ、先ヅ一萬五千瓦ノ製造能力ヲ以テ所謂  
種繭ノ製造ヲ考ヘル、サウシテ其中ノ五割  
ト云フモノ——三分ノ一ヲ捨テ、シマフ、  
サウシテ一萬瓦ノ蠶種ヲ製造シヨウト考ヘ  
タ場合ニ、幸ニ残りノ原蠶種モ非常ニ立派  
ナモノガ出來上ツタ、捨テ、シマフノハ惜シ  
イ、サウシテ生絲ノ相場ハ相當ニ高イガ爲  
ニ捌口増加ノ見込ガアル、斯ウ云フ場合ニ  
ハ、蠶種製造業者ハ其完全ナル、無毒ナル  
——無毒ヲ保證サレル所ノ蠶種ヲ捨テ、シ  
マハナイノデアリマス、ソレヲ捨テタッテ製  
絲原料トシテハ、殆ド價值ガナイノデアリ  
マスカラ、ヤハリ之ヲ蠶種製造ヲスルノデア  
リマス、ソレデアアルカラ初メカラ一萬瓦ヲ  
製造豫定シナガラ、一萬五千瓦ノ蠶種ガソ  
コニ製造サレル、斯ウ云フヤウニナッテ來ル  
ノデアリマス、ソコデ養蠶家ノ立場ト致シ  
マシテモ、蠶種ノ購入ガ長イ慣例ニ依ッテ線

返サレテ居リマスルカラ、ドウシテモ茲ニ  
統制ヲシテ、何處ノ蠶種製造業者ノ蠶種デ  
モ宜イ、此品種デ政府ガ保證シ、或ハ縣ガ  
保證スル所ノ蠶種デアレバ、誰ノ製造デア  
テモ構ハナイト云フ專賣式ニナッタ場合ニ  
於テハ、養蠶家ハ過去ノ慣例ヲ離レテ、何  
レノ蠶種製造業者ノ蠶種デモ、政府ヨリ交  
付サレル所ノ蠶種ヲ掃立テマスガ、今日ノ  
場合ハ誰ソレノ蠶種デナケレバイケナイ、  
何々會社ノ蠶種デナケレバイケナイ、斯ウ云  
フ慣例ニ囚ハレテ居リマスルガ故ニ、其目  
的トスル蠶種ガ必シモ優良デナイカモ知レ  
ナイ、更ニ優良ナル蠶種ガアルカモ知レナ  
イケレドモ、ヤハリ過去ノ舊慣ニ囚ハレテ  
其蠶種ヲ買取ル、一方ニハ又今申シマシタ  
原因ニ依ッテ、豫定以外ノ製造額ガ出來ル、  
斯ウ云フコトニ依ッテ今日四割或ハ五割ノ  
過剩蠶種ガ出テ來ルノデアリマス、決シテ  
政府ノ御考ヘニナッテ居ルヤウニ、原蠶種國  
家管理法ニ依ッテ品種ガ限定サレル、之ニ  
依ッテ蠶種ノ製造額ガ漸次限定サレル、過剩  
蠶種ガナクナルガラウ、斯ウ云フコトハ全  
ク見方ガ違フヤウニ考ヘルノデアリマスル  
ガ、此點ニ付テ尙ホ御意見ガアリマシタラ  
承リタイト思ヒマス

○井野政府委員 今日此過剩蠶種ガ出來テ

参リマス原因ハ、仰セノヤウニ色々ナ點ニアリマスガ、大體此原蠶種ガ三百前後モノルト云フコトガ、私共ハ過剩蠶種ヲ生ズル大キナ原因デアルト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、今御話ノヤウニ蠶種製造業者ハ豫約製造デゴザイマセヌカラ、需要者ガドウ云フ蠶種ヲ要望シテ來ルカ分ラヌト云フ所カラ、品種ガ非常ニ多クナルノデ、其品種毎ニ多少餘裕ヲ作ッテ製造シテ置カナケレバナラヌト云フコトカラ、過剩蠶種ガ相當生ズルヤウニ私共ハ聞イテ居ルノデアリマス、殊ニ原蠶種管理法ヲ實施シマス際ニ、當業者ノ要望サレマシタツノ理由トシテハ、原蠶種國家管理ニナレバ、過剩蠶種ト云フモノハ非常ニ減ル、隨テ販賣ノ利益ガ多クナル、ダカラ原蠶種國家管理ニシテ貫ヒタイト云フ御要望ガアッタノデアリマス、其時ノ理由モ、原蠶種國家管理ト云フモノガ、一ツノ蠶種製造業者ノ販賣上ノ利益トシテ主張サレテ居ル點カラ見マシテモ、其點ハ原蠶種國家管理ヲ實施シテ見マシテ、即チ原蠶種ヲ十數種ニ限定シテ見マシレバ、過剩蠶種ガ各ソレニ伴ヒマスコトハ御説ノ通りデアリマス、併シ現在ノ三百以上モアル時代ヨリ減リマスコトハ、是ハ御諒承ヲ願ヘルト思ヒマス、隨テ是等ノ

實績ヲ見テカラ吾々ハ普通蠶種ノ問題ヲ考ヘテ行クノガ宜イデヤナカラウカ、殊ニ現在全國蠶種業者組合聯合會ニ於テモ、普通蠶種國家管理ノ問題ヲ研究シテ居ルノデアリマスガ、是ハ主トシテ販賣促進上ノ國家管理問題ヲ考ヘラレテ居ルヤウデアリマス、今御述ベノヤウニ普通蠶種ヲ全部國ガ持つテ之ニ當ルト云フ譯デハナイヤウデアリマス、サウ致シマス、非常ニ是モ國ノ經費ガ嵩ンデ参リマシテ、今日果シテ直グニ普通蠶種國家管理ニ入レルカ否カ、吾々モ研究シテ見ナケレバナリマセヌ問題デアリマスカラ、隨テ是等ノ問題ハ能ク一ツ全國蠶種業者組合聯合會トモ協調致シマシテ、サウシテ吾々ハ絲價安定施設法案ガ通りマシタ後ニ於キマシテハ、十分ニ研究ヲ致シマシテ、速ニ其實現ヲ期スル態度デ進ンデ参リタイト思フノデアリマス

**○森委員** 蠶種製造業者ノ團體ト能ク協調シテ、今後善處スルト云フコトヲ承リマシテ、満足シタ次第デアリマス、ドウゾ一ツ蠶絲業ノ全般ニ互ッテノ施設ヲ揃ヘルト云フコトガ、國家蠶絲業ノ政策遂行ノ上ニ於テ必要ナコトデアリマスカラ、是非其方針ヲ御進ミ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ御尋致シタイトハ新販路ノ開拓デアリ

マス、新販路ニ付キマシテハ、色々政府當局モ御心配ニナッテ居ル譯デアリマスガ、尙ホ其必要ニ應ジテ、滯貨生絲モ無償交付サレマシテ、此目的ニ努力ヲシテ戴イテ居ル譯デアリマスガ、此生絲販賣施設ノ經費ニ二百萬内外ノ金ヲ、各種業者ノ團體ガ醸出致シテ居ルノデアリマス、是ハ養蠶實行組合マデ負擔ヲ致シテヤッテ居ルノデアリマスカ、斯ウ云フ國家的事業ト考ヘマシタ場合ニ、二百萬ヤ三百萬ノ僅少ナ金ニ依ッテ、果シテ販路ノ開拓宣傳ト云フコトガ出來得ルデアラウカ、是ハ前ノ高橋大藏大臣ノ時ニ、百萬圓位ナシミッタレタ金デ、宣傳ナンカ止セト云フ風ニ反對サレタヤウニモ聞イテ居ルノデアリマスガ、此蠶絲業ガ我が國家ノ經濟上重要ナル位置ヲ占メルト云フコトヲ考ヘマシタ場合ニ於テ、其新販路ヲ擴張シ宣傳スル上ニ於キマシテハ、相當政府ハ金ヲ出シテヤッテ戴イテ宜イト思フノデアリマス、然ルニ僅ノ金、其僅ノ金モ而モ之ヲ當業者ノ各團體ニ負擔サシテ、サウシテ團體ガ苦シイ中カラ此資金ヲ醸出致シテ居ルト云フヤウナ状態デアルノデアリマスルガ、斯ノ如キ姑息ナ手段ニ依ッテ、果シテ此大目的ガ達成シ得ラレルグラウカ、私ハ茲ニ非常ナル將來ニ對スル疑問ヲ

存スルノデアリマスルガ、此新販路擴張宣傳ト云フコトニ付テ御考ノ程ヲ承リタイト思フノデアリマス

**○井野政府委員** 吾々蠶絲對策ヲ講ジマス上ニ於テ、總テノ方面カラ蠶絲業ノ更生刷新ヲ圖リ、對策ヲ講ジテ行カナケレバナラヌデアリマスガ、悉ク國家ノ力デヤラナケレバナラヌト云フモノデハナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、業者自ラガ出來ルコトハ是ハ業者ニヤラセルシ、業者ノ出來マセヌコトハ國家ガ出來ルダケ援助シテ行クト云フコトガ、總テノ施設ヲ完全ニ施行シテ行キマス上ニ於テ、最モ有效デアルト信ジテ居ルノデアリマス、其爲ニ此新販路ノ開拓ニ付キマシテ、亞米利加ニ對スル舊來ノ販路維持ノ爲ノ宣傳費ノ問題ハ、是ハ業者自ラヤルコトノ方ガ適當デアル、國ガ唯金ヲ出シテ其金ヲ亞米利加ニバラ撒クヨリハ、業者自ラガ金ヲ醸出シテ、サウシテ眞劍ニ宣傳事業ニ乗出シテ行クコトノ方ガ適當デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、當初ニ於キマシテハ百萬圓ヲ養蠶業者ニモ、製絲業者ニモ分擔サセマシタガ、今回ハ養蠶業者、製絲業者ハ分擔ヲ致シマセヌデ、輸出業者ダケガ一俵ニ付テ五圓、二百五十萬圓ノ宣傳費ヲ年々醸出致シマシテ、サウシ

テ亞米利加ニ於テノ宣傳事業ヲヤルコトニ  
ナツトデアリマス、是ハ又今回製絲業者自  
ラガ致シマシタ釜數整理ノ問題モ同ジデ、  
是モ初メハ政府ヨリ金ヲ出シテ呉レト云フ  
要望ガアツトデアリ マスケレドモ、斯ウ  
云フ事柄ハ自治的ニヤルノガ適當デアルト  
云フノデ、業者自身モサウ云フ風ニ考ヘラ  
レマシテ、一千萬圓ヲ自ラ調達シテ、其施  
設ニ當ツテ居ル譯デアリマス、必シモ總テ  
ノ蠶絲ノ政策ト云フモノヲ、悉ク國ガヤラ  
ナケレバナラヌト云フ考ヘ方ハ是ハ私共ハ  
避ケテ行キタイ、ドウシテモ業者ガ出來ナ  
イモノハ國ガヤツテ參リマスケレドモ、出  
來ルモノハ業者自體ノ自治ノ力ニ依ツテヤ  
ラシテ行クコトノ方ガ、寧ロ效果ガ多イモ  
ノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア  
リマス

又蠶ニ關係スル有ユル業者モ、殆ド經濟上  
ニ行詰ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリ  
マスルカラ色々施設ヲ要求シ、色々ノ助  
成ヲモ政府ニ要望シテ、今日問題ガ起ツテ  
居ルヤウナ状態デアルト思フノデアリマ  
ス、ソレデアリマスカラ、斯ウ云フ場合デ  
アルニ依ツテ、其宣傳費ヲ復活サシテ居ル  
ト云フ風ニ御話ニナリマスルガ、ソレガ結  
局繭ノ値段ニ關係シテ來ルノデアリマス、  
生産費、販賣費ト云フモノニ加算サレテ來  
ルノデアリマス、皆結局ハ繭ノ生産費ニ是  
ガ加味サレテ來ルト云フコトヲ、一ツ御考  
置キヲ願ヒタイト思フノデアリマス、業態  
ガ順調ニ運ビ、相當ノ餘力ノアル場合ニ於  
テハ、將來積極的ニ進ム上ニ於テ、販路擴  
張ニ對シテ、當然自ラ其經費ヲ醸出シテ努  
力スベキモノデアルト思フノデアリマスル  
ガ、今日ノ状態ハ總テノ業態ガ行詰ツテ居  
ル、斯ウ云フ状態デアルカラ、政府トシテ  
ハ特ニ零細ナル金トハ言ヒナガラ、政府自  
ラ其經費ヲ負擔シテ載クコトガ適當デハナ  
イカ、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリ マスル  
ガ、是モ見方ニ依ツテドウデモ理窟ガ付ク  
コトデアリマスルカラ、私ハサウ云フヤウ  
ナコトヲ希望シテ居ルト云フヤウナコトニ  
於テ、私ノ質問ヲ終リタイト思フノデアリ

マスガ、幸ニ農林大臣ガオ見エニナリマシ  
タカラ、此際一ツ御尋致シマシテ、御所見  
ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソ  
レハ農林大臣ガ前々農林大臣トシテ御就任  
ニナツタ時ニ、産繭處理統制法案ト云フモ  
ノヲ御考下サツタノデアリマスガ、其當時  
御考下サレタ産繭處理統制法案ト、現在施  
行サレテ居ル産繭處理統制法案トハ、其實  
際ノ力ニ於テ相違ガアルノデアリマス、之  
ニ付テハ色々議會ニ於テ議論サレタコトハ  
御承知ノ通りデアリマスガ、アノ場合已ム  
ヲ得ナイ、此儘免ニモ角ニモ不完全デア  
ルガ、補強工作ヲ將來ニ講ズルト云フコトニ  
依ツテ、其實現ヲ見タノデアリマスガ、而  
モ其當時ノ附帶決議ニ依ツテ、製絲ノ販賣  
統制ヲ行ハナケレバナラヌト云フ希望ヲ致  
シテ居リマシタ、此希望ノ實現ニ依ツテ、不  
完全デアアル産繭處理統制法案ノ效果ヲ、一  
層大ナラシムルト云フコトヲ希望致シテ  
居ツタノデアリマス、所ガ今回ノ絲價安定法  
案ハ、其當時考ヘマシタヤウナ生絲ノ販賣  
統制ト云フコトガ、價格ノ上ニ依ツテノミ  
考ヘラレテ居ツテ、實際ニ是ガ出來得ナイ  
ト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、先程政  
府委員カラノ御説明デハ、更ニ一層強化シ  
タモノデアルト云フ御答辯ヲ得タノデアリ

マスガ、是モ見解ノ相違デアリ マスルカ  
ラ、強チ之ヲ議論ヲ重ネヤウトハ思ハヌノ  
デアリマスガ、此場合ニ農林大臣ニ御同致  
シタイコトハ、此絲價安定法案ノ實施ニ依ッ  
テ、先以テ蠶絲業ニ對スル政策ヲ一巡終ル  
ト云フ御氣持デアルカ、私ハ先程來政府委  
員ノ御意見ヲ承ツテ、桑園ノ問題ナリ、蠶  
種ノ問題ナリ、今後殘サレタル問題ガアラ  
ウト思フノデアリマスガ、ドウモ政府ハ是  
デ大體準備ガ整フト云フヤウナ御氣持ガア  
リハシナイカト思フノデアリマスガ、前ニ  
農林大臣トシテ産繭處理統制法案ヲ初メテ  
御考ナサツタ其法案ト、現在ノ産繭處理統  
制法案ハ、餘程力ガ弱イノデアリマス、弱  
イノデアリマスカラ、其補強策トシテ、此  
絲價ノ安定ト云フコトニ依ツテ、産繭處理統  
制法案ガ幾ラカ強化サレタヤウニ考ヘルノ  
デアリマスガ、マダノ國家ノ蠶絲業ノ根  
本策ヲ樹立スルニ付テ、色々ノガ殘  
テ居ルヤウニモ考ヘルノデアリマスルガ、  
此點ニ付テ農林大臣トシテノ御氣持ヲ伺  
レバ幸ト思フノデアリマス

○山崎國務大臣 産繭處理統制法案ハ、成  
程前々回ニ提出致シマシタノト法文ニ於テ  
若干緩和サレタコトハ、御話ノ通りデアリ  
マスガ、併ナガラ實際上ノ效果ニ於テハ、

大シタ差ガアルトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、尙ホ今回ノ此絲價安定施設法案ハ、産繭處理統制立法案ノ當時カラ、當然並行シテ考ヘテ居ラヌ問題デアリマシテ、幸ニ今回此法案ガ成立致シマスレバ、其當時考ヘテ居リマシタ二ツノ施設ハ、確ニ一應ノ段落ヲ告ゲルコト、ナル譯デアリマス、併ナガラ只今森君ノ御話ノヤウニ、蠶絲對策トシテ是デ濟ンダナドトハ當局ハ考ヘテ居リマセヌノデ、一ツノ筋ヲ追ウタ立法ノ方法トシテハ、一ツノ區切りニハナル譯デアリマスケレドモ、併ナガラ蠶絲政策其モノトシマシテハ、無論此原蠶種ノ問題モ殘ッテ居リマスルシ、或ハ又實際上ノ行政各般ノ施設ハ、益、是ハ力ヲ入レテ行カナケレバナラヌノデアリマシテ、決シテ是デ以テ氣ヲ緩メルト云フヤウナ氣持ハ、農林當局トシテハ持ッテ居リマセヌ譯デアリマスカラ、其點ハドウゾ御安心ヲ願ヒ、且ツ又今後ニ於キマシテモ、各種ノ問題ニ付テ御意見等ハ御忌憚ナク御示シテ願ヒ、又御鞭撻ヲ願ヒタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

**○森委員** 私ノ質問ハ是デ打切りマス

**○最上委員** 私ノ質疑ハ次會ニ讓ルコト、致シマスガ、只今材料ノ提出ヲ此處デ希望シテ置キマスカラ、次會マデニ成ベク御提

出ヲ願ヘタラ戴キタイト思ヒマス、ソレハ本施設法案ノ内容ヲ見マスルト、色々難シイ事ガアルノデアリマスガ、之ニ付キ勅令或ハ命令ノ範圍ガマダ能ク分ッテ居ラナイノデアリマス、只今勅令命令ノ概要ガ手許ニ參ッタノデアリマスガ、ソレヲ見テモハッキリ致サナイ事ガアリマスカラ、若シ出來得ルナラバ次會マデニ其勅令及ビ命令ノ大要デモ分ッテ居ラタナラ御示シテ願ヒタイ、更ニ定款ニ付テデアリマスガ、定款ニ付テモ研究シナケレバナラヌ點ガアリマスカラ、既ニ成案ヲ得テ居ラタナラ、其内容ノ一部ヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス、第二トシテハ融資ノ擔保生絲買收法ニ依リ昭和七年デシタカ、十一萬俵買入レタコトガアリマス、其後ノ經過ニ付テハ當局ヨリ買入生絲處分年次別數量ガ配付サレタノデアリマスガ、是デハ能ク内容ガ分リマセンカラ、此表ニ依ル四萬七千二十餘俵ヲ何處ヘ賣ラタカ、及ビ數量及ビ其生絲ノ製造年月別ニ付テ、別ニ御示シテ願ヒタイノデアリマス、又勅令ニ依ッテ他ヘ寄附シタト云フヤウナコトモアリマセウガ、其點ニ付テモ御示シテ願ヒタイノデアリマス、第三ハ昭和七年春旭「シルク」對當業者トノ間ニ於テ、滯貨生絲ノ處分ニ付テ契約ガ行ハレタサウデアリマ

スガ、其問題ニ付テハ私ハ内容等ヲ能ク知ラナイノデアリマス、隨テ其大要ヲ御示シテ願ヒタイト共ニ其後ノ經過、竝ニ先日——二十六日ノ本會議デアリマシタカ、農林大臣ガ滯貨生絲處分ニ對シテハ、昨年末兩者間ニ於テ解決ヲ告ゲタト云フヤウナコトヲ言明シテ居リマスガ、其解決法等ニ付テモ、詳細デナクテモ宜シウゴザイマスカラ、大要文書ニシテ御提出ヲ願ヒタイノデアリマス、以上三點ノ材料ノ要求ラシテ次會ニ質問ヲ讓ルコトニ致シマス

**○井野政府委員** 只今御要求ニナリマシタ資料ニ付キマシテハ、出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ致シマスガ、命令事項等ニ付キマシテハ、目下當局ニ於キマシテ色々研究中デアリマス、又關係省トモ色々打合せナケレバナリマセヌノデ、只今御手許ニ差上ゲデアリマシタ資料デ、尙ホ御質疑ガゴザイマシタナラバ御尋ヲ願ヒマシテ、ソレニ對シテ御答ヲ申上ゲタイ、文書ニ付キマシテハ其程度以上ニハ、一寸作りニクイ事情ガゴザイマスカラ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ定款ハ恐ラク絲價安定施設組合ノ定款デアラウト思ヒマスガ、是ハ組合ガ全然出來ルコトニ付テノ目安モ立ッテ居リマセヌ、隨テ今コチラトシテ定款

ヲ作ッテ置クト云フ程度ニハナッテ居リマセヌ、併シ此定款ハサウ面倒ナモノデナクテ、普通ノ組合ノ定款ト違ヒナイモノト御諒承ヲ願ッテ宜イト思ヒマス、是モ差出ス程度ニハマダ出來テ居リマセヌカラ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ買收法施行後ノ生絲ノ處分ノ數量ニ付キマシテハ、是ハ無論表ニ致シマシテ御手許ニ差上ゲマス、尙ホ旭「シルク」ノ關係ニ付キマシテハ其後ノ經過等ハ、或ハ御質問ニ依リマシテ詳シク御答申上ゲタ方ガハッキリスルノデヤナイカト思ヒマスガ、簡單ニ何カ文書ニシタ方ガ宜イト云フ御話デアリマスレバ、文書ニ出來マスケレドモ、色々事情ガ込入ッテ居リマスカラ、詳シク色々申上ゲタ方ガ宜イノデハナイカト思ッテ居リマス、如何デゴザイマセウカ

**○最上委員** 勅令及ビ命令ノ點ニ付テハ承知シマシタ、又定款ニ付テモ時々私ガ質問致シマスカラ、其時ニソレヲ承ハルコトニ致シマスガ、唯旭「シルク」對當業者トノ關係ハ、或ハ此問題ニ依ッテ、當時ノ買收法案ノ審議ニモ多少關係ガアルコト、考ヘラレルノデアリマス故ニ、詳細デナクテモ宜シウゴザイマスカラ、文書ニ大體ヲ記入シテ御出シ下サランコトヲ願ヒタイノデアリマ

ス、更ニ私ノ質疑ノ第一ハ、大臣ニ質疑ヲ致シタイコトガアリマスカラ、其點御配慮ヲ下サイ、長クアリマセヌシ、十分カ二十分位デアリマスカラ、次會ハ大臣ニ御出席ヲ願ヒタイ

○横川委員長代理 本日ハ是ニテ散會、次會ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、併シ大體明日午前十時開會ノ豫定デアリマス

午前十二時散會

昭和十二年三月三日印刷

昭和十二年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社